

# 「六中 当たり前6箇条」できていますか？

# 六中だより



文責 宮川 英樹

- その1 授業はまじめに (話す人の顔を見てしっかり反応する)
- その2 気持ちのよいあいさつ (少し高い声で少し離れた人にも先取挨拶)
- その3 身なり、そろえかた (常に身なり整え、はきものをそろえる)
- その4 時間を守る (時間を守ることが信用につながる)
- その5 いじめをしない、許さない (人が嫌がることをせず、気付いて何もしない人にならない)
- その6 スマホ等は夜9時まで (夜は家庭学習等の時間)

先日行った生徒向けアンケートで、『六中あたりまえ6箇条』を意識して生活している」という評価項目に「そう思う」「どちらかとそう思う」と回答した生徒は、全体の64%でした。また、校長をはじめ職員も、日頃意識してこのことを指導していないということも反省として出されました。



意識しなくてもできている生徒は多いと思いますが、示す必要もない「当たり前のこと」にはなっていません。学校でもしつこく伝えていきますので御家庭でもご指導よろしくお願ひします。特に、スマホやゲーム等の使用については「夜9時」を守らせてほしいと思います。

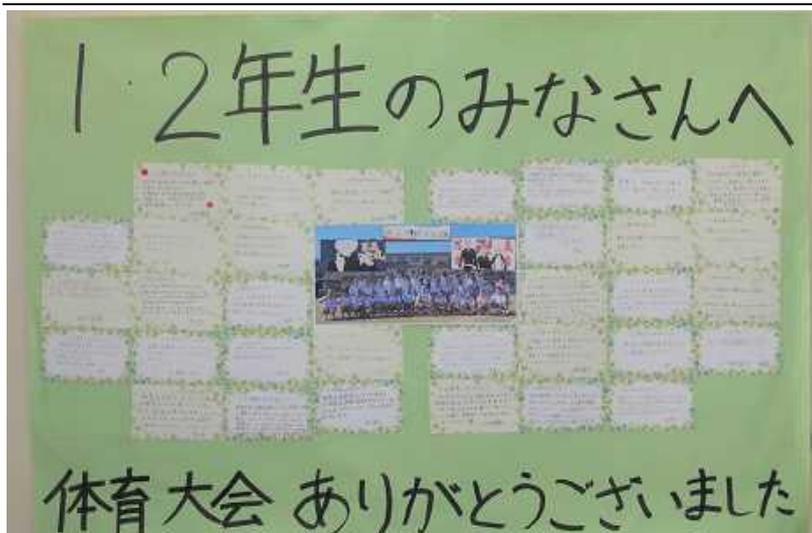
## 三年生からのメッセージ

六中では、体育大会や文化祭などの行事の度に、学年間でメッセージを伝えあっています。

上級生から「大変だけど、楽しくて充実感が残るから頑張ってる」、下級生からは「優しく教えて下さってありがとうございます」などのメッセージがカードを通じて伝えられています。

現在、生徒昇降口には、体育大会を終えて三年生から「二年生へ「ありがとう」のメッセージが掲示されています。

メッセージを二つ紹介します。  
 ○体育大会お疲れ様でした。今年の演舞は難しいところが多かったですが、しっかり覚えてくれたので、すごいと思いました。演舞など、人に教える時は、自分もしっかり理解したうえで相手に教えるようにしなければなりません。来年頑張ってください。



○応援団は、夏休みも学校に来たり、放課後まで練習したりして練習も大変です。のかわり達成感を得られることができてうれしいです。

来年頑張ってください。

## あとがき

今から十数年前、私が勤務していた市内の中学校の職員室での出来事です。

放課後、二年生の担任が、生徒の祖母からの電話に対応していました。聞こえてくる内容から、ストリートパーマをかけたことを孫が学校で指導されたことに対し不満を伝えられたことがわかりました。

その担任は、パーマ等の髪加工については、それぞれに状況が違うので、しっかりと話し合ったうえで行う必要があるというように説明していったと思います。

その時に、その担任が声を荒げた瞬間がありました。「くせ毛はおかしいんですか？」「私もそうですか？」「おかしい」とまわりの大人が思うくらい本人も自分の髪型はおかしいか？と珍しく興奮して訴えていました。後で聞いたところ「くせ毛が何かしいから」とおっしゃったことに対して納得できなかったとのことでした。その電話の後、家庭訪問等で納得がいくまで話し合いましたが、その担任のやりとりを聞いて、その担任の「変だ」「おかしい」という感覚は、自分の偏見から生まれる誤った感覚ではないかと思うようになりました。そして、ありのままを受け入れることの大切さを改めて感じた瞬間でした。